



私から一言

健康ウォーキングを実施して

緑丘地区社会福祉協議会 会長 榊原 修

令和5年11月23日(木)、勤労感謝の日、緑丘社会福祉協議会主催による健康ウォーキングを開催しました。天候にも恵まれ、絶好のウォーキング日和になりました。

今回のテーマは、秋の紅葉を眺めながら、地域に昔からある神社仏閣を訪ねて歩くということです。途中で調子が悪くなった場合に備えて、サポートカーを用意しました。しっかり準備運動をした後、Aコースは5.4km、Bコースは7.5kmと、二手に分かれて稗田八幡宮をスタートしました。

私は、Bコースを歩きました。稗田大師堂を通過して、途中中山公園でトイレ休憩をした後、旧小川幼稚園、小川郵便局、柳田駐在所を経て、吉塔寺に到着しました。ここは平安時代からあるといわれる古いお寺です。今年は暑い日が続いていたので紅葉の進み具合が遅れているようでしたが、気持ちの良い青空を眺めて休憩、参拝をして、次への道のりに進みました。三春滝桜を横目に見ながら柳田八幡宮に到着しました。ここも室町時代には社が建てられていたという古い神社です。巨木が生い茂るお社を参拝、見学し休憩をとりました。ここまでで、コースの道のりの3分の2を歩きましたが、皆さんの足取りは軽く、とても元気です。



さてここからは、下津井電鉄廃線跡の自転車道を通って帰ります。少し上り坂が続きましたが、稗田公園での小休止をはさんで、全員ゴールの稗田公会堂まで無事に歩き切ることができました。

私は、今回の健康ウォーキングを通して、計画・準備・当日の運営など多くの人達に支えられたことに感謝しています。皆でおしゃべりしながら歩くと、日頃から見慣れた風景の中にも新たな発見をして、地域を見直すよい機会になりました。一緒に歩いた皆さんも同じように感じてくれたようで嬉しい限りです。

コロナの流行により様々な行事が中止になっていましたが、5類へと移行してからは事業もやりやすくなりました。これからも時代の変化に対応した社会活動を通じて、地域の皆さんと共に、集いの場、語らいの場、憩いの場を作っていきたいです。そして、一人ひとりが輝きを増す環境づくりのお手伝いできれば大変幸せです。



★人権だより「ふれあい」の児島中学校区全戸配布につきましては、自治会の皆様に大変お世話になっております。

倉敷市児島中学校区人権学習推進委員会 (事務局：倉敷市児島公民館)
〒711-0913 倉敷市児島味野 2-2-38 TEL：086-472-7423

発行

令和6年
3月発行

人権だより 第45号

ふれあい

発行 倉敷市児島中学校区
人権学習推進委員会

事務局 倉敷市児島公民館
倉敷市児島味野 2-2-38
TEL.472-7423

人権学習推進委員会研修会



令和6年1月12日(金)に、児島中学校区人権学習推進委員会研修会を実施しました。

今回は、来年度の組織や研修視察先等について話し合った後、5つのグループに分かれ、「人権すごろくトーク」という研修を行いました。これは、すごろくをしながらマスに書いてある話題について、自分の体験や人権課題に対する思いを話し合い、新たな気づきや学びを得る、そして参加者同士の相談し合える関係や支え合う関係をつくるというものです。



参加した推進委員の皆様は、お互いの話をうなずきながらしっかりと聞き、時には質問を交えながら、和やかな雰囲気の中ですごろくを楽しみ、様々な人権課題について意見を交流することができました。



参加者の感想

- ◆ 地域のつながりの大切さ、人権に対する個々の思いや考えを改めて感じるよい機会になりました。
- ◆ 全員話すことができ楽しかったです。今まで顔だけしか知らなかった人とも会話ができ有意義でした。話すことは大切だと思いました。
- ◆ 和やかに語り合うと自然と笑顔になり、楽しい時間を過ごせました。他の人の意見を聴こうという思いやりの気持ちになることが分かりました。
- ◆ 参加者の考え方を知ったり、意見を聞いて考えさせられたりして、人間関係づくりにとても有効だと思いました。



19回目

異国文化ふれあい料理教室

令和5年11月11日(土)、児島市民交流センターで、児島中学校区人権学習推進委員会主催の異国文化ふれあい料理教室を行いました。

この事業は、今回で19回目となります。平成17年から行っており、毎年いろいろな国の方を講師としてお招きし、その国の代表的な料理と一緒に作って会食をしながら、その国の生活や文化、食生活などを教えていただいで、学ぶということをしてきています。そうすることで、異文化の理解と交流を図っています。



キム・ユニ先生

今年は、岡山県国際交流センターの韓国語講師の方に来ていただいて、韓国の代表的な料理、キンパとジョンを作りました。キンパとは韓国風の手巻き寿司のことで、ジョンとは日本でよく知られているチヂミに似た料理です。



参加者の感想

- ◆材料がいろいろあってどうしたらよいか迷ったとき、一つ一つ丁寧に教えていただき、グループのみんなと楽しくすることができました。
- ◆先生が韓国料理に誇りをもって熱心に教室を開いてくださり感謝しています。私の心の宝物となりました。
- ◆先生が韓国料理に誇りをもって熱心に教室を開いてくださり感謝しています。私の心の宝物となりました。
- ◆エゴマの葉のにおいを知ることができて楽しかったです。先生も明るい人で楽しかったです。
- ◆本場の料理を教えてもらったので楽しかったです。キンパは、日本の巻き寿司よりも簡単で、家庭でもできそうでした。

本会の会長が表彰されました

児島中学校区人権学習推進委員会の片山典子会長が、人権擁護委員としての長年の功績が称えられて法務大臣表彰を受け、令和5年10月23日、法務省にて表彰式が行われました。今後も地域の人権問題の解決に取り組み、地域の皆様に人権について関心を持ってもらえるよう、推進委員の皆様とともに、本会の活動の推進にも力を注いでくださるとのことです。

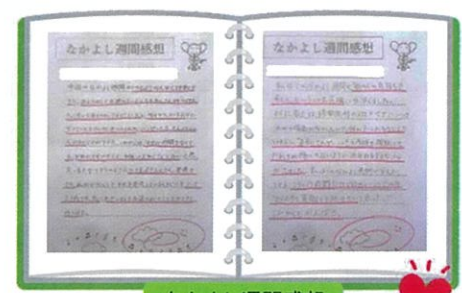


児島小学校では、毎年1学期と2学期に「なかよし週間」を行っています。1学期は、「仲間づくり」をテーマに学級の人権のめあてやハッピーレターの作成、あいさつ運動の取組についての紹介、人権ポスターの制作、人権に関わる図書の紹介などに取り組みました。2学期は、「思いやり」をテーマに、人権に関わる図書やハッピーレターの取組についての紹介、人権標語の作成などに取り組みました。

初日は、なかよし週間のテーマについて、校長先生から話を聞きました。テーマを理解するうえで大切にしてほしい考え方や身に付けてほしい力が紹介されました。学級の人権のめあてや人権標語は、画用紙を提示しながら、めあてや標語に込められた願いが紹介されました。



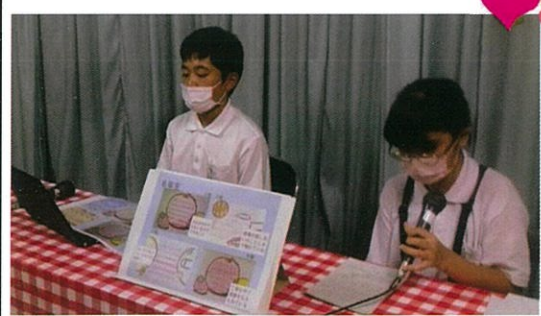
人権標語



なかよし週間感想



ハッピーレターは、友達の良いところを見つけて、相手が幸せになる手紙を書きました。レターのデザインは、広報委員会が行いました。運営委員会は、放送の司会に加えて、あいさつ運動やハッピーレターの取組を紹介しました。特に、ハッピーレターの取組の紹介では、「丁寧な字で感謝を伝えられている。」「相手が上手なことを書いていて、とてもすてきですね。」など、各学年の児童が書いた手紙の良いところを、全校に詳しく紹介することができました。図書委員会は、人権に関わる図書の紹介を行いました。1学期は「もりいちばんのおともだち」、2学期は「ともだちいっぱい」を紹介しました。週間のしめくりには、様々な取組について感想を書きました。「友達の良いところをたくさん見つけた。」「いつもの生活にも少し意識して続けたい。」など、なかよし週間で学んだことを丁寧に振り返ることができました。



ハッピーレターの取組紹介



人権図書の紹介

このように、児島小学校の「なかよし週間」では、様々な取組が行われています。委員会の児童が積極的に関わることで、児童の人権意識がさらに高まることを願っています。児童が互いの良さを認め合い、より良い行動を進んで行うことができるように、これからも継続して取り組みたいと思います。